

国際交流論 I

科目ナンバリング INR-201
選択 2単位

松岡 美里

1. 授業の概要(ねらい)

現在、グローバル化 (globalization) が進む中、国際関係は各問題を世界的に理解するための重要なテーマであり、グローバル視点が必要とされています。この授業では、国々の政治、経済、社会や文化はどのように成立し、影響しあっているのかを学修します。国家間のみならず、個人レベルでどのように国際交流がなされているのかを考えていきます。また、いくつかの例を挙げ、国際関係を柔軟的・創造的に再考します。春学期において、グループ・アクティビティを通じて、既存の理論を理解し、国際関係についてのディスカッションを行います。

2. 授業の到達目標

- ・To deepen the understanding about globalization and international relations グローバル化と国際関係を深く理解する
- ・To think creatively about international relations 国際関係を創造的に考える
- ・Engage actively through discussion 積極的にディスカッションに参加する

3. 成績評価の方法および基準

- ・Active class participation (e.g. group activities) 積極的な授業参加 40%
- ・Short presentation ショート・プレゼンテーション 30%
- ・Final exam 期末テスト 30%

4. 教科書・参考文献

教科書

Timothy Dunne/ Milja Kurki/ Steve Smith International Relations Theories: Discipline and Diversity
Oxford Uni Press

5. 準備学修の内容

- ・Read the materials beforehand 配布された資料を事前に読む
- ・Submit the assignments when given in advance 事前に与えられた課題を提出する
- ・Presentation preparation (research, PPT slides, script) プレゼンテーション準備(資料調査、スライドの作成、原稿の作成)

6. その他履修上の注意事項

- ・This class is conducted mostly in English (materials, discussion, reflection papers) 主な使用言語は英語(資料、ディスカッション、リフレクション・ペーパー)
- ・Except for special reasons, you need to attend every class. If you are absent more than 5 times, you cannot get the credit. 特別な事情がない限り、15回の授業すべてに出席すること。5回以上欠席すると、単位が与えられません。

7. 授業内容

- 【第1回】 Introduction ガイダンス、授業の内容と進め方
- 【第2回】 What is "International Relations" 国際関係学とは
- 【第3回】 History of International Relations Theory 国際関係論の歴史
- 【第4回】 Realism 現実主義
- 【第5回】 Balance of Power and Deterrence Theory 勢力均衡論と抑止論
- 【第6回】 Liberalism 自由主義
- 【第7回】 Dependency Theory and World System Theory 従属論と世界システム論
- 【第8回】 Structural Violence and Positive Peace 構造的暴力と積極的平和論
- 【第9回】 Postcolonialism ポスト植民地主義
- 【第10回】 Short Presentation ショート・プレゼンテーション
- 【第11回】 Hegemony 覇権
- 【第12回】 Global Governance グローバル・ガバナンス
- 【第13回】 Civilization 文明論
- 【第14回】 Summary (from Week 2 to 13) & Final Exam まとめ(第2回～第13回)と期末テスト
- 【第15回】 Review & Summary 復習とまとめ